



広報紙

よくゆく

ホームページアドレス: <http://www.mod.go.jp/gsd/mae/macb/49i/index.htm>

第155号

令和4年12月9日

発行: 49普連広報紙

常即一体となり任務を完遂

令和4年度混成団訓練検閲

連隊は令和4年12月1日から3日までの間、あいば野演習場（滋賀県高島市）において、中部方面混成団が実施する令和4年度団訓練検閲（課目「30km徒步行進」に引き続き「陣地攻撃」）を受閲した。

本検閲は約3年ぶりの団訓練検閲であり、連隊は所属の常備自衛官278名及び即応予備自衛官198名のほか、第10特科連隊、第10戦車大隊、第10高射特科大隊、第6施設群及び第306普通科直接支援中隊の配属を受け、増強普通科連隊を編成し2夜3日の連続状況の訓練に臨んだ。

検閲に先立ち、宮の森宿営地において実施された訓練検閲開始式において統裁官（混成団長 青井 一 佐）は「適時適切な指揮幕僚活動」「基本基礎の徹底」「健康管理・安全管理」の3点を要望し、常備自衛官が「常即一体」となり、後藤連隊長を核心として任務を完遂する事を期

待し訓示とした。連隊は、12月の冷たい雨の中、1日午後30km徒步行進開始。2日に警戒部隊を駆逐、3日に陣地攻撃を成功させ任務を完遂した。本検閲の最後に、検閲参加者で集合写真を撮影した。



前方を警戒する小銃手と01ATM手



攻撃前進中の小銃手



6km行進



基本教練発表会



応急処置をする中学生

隊内生活体験

団結と融和

連隊は、令和4年10月31日から11月2日の間、豊川駐屯地において万能工業株式会社の新入社員14名に対し隊内生活体験を実施した。

参加者は、防衛講話、基本教練、行進訓練、体育訓練、営内服務などを体験して、自衛隊における厳正な規律、団結心、リーダーシップ、忍耐力、協調性の重要性を体感した。

特に非常呼集からの6km行進では、10kgを超える背のうを背負い支援物資（水・食料等）を届けるという任務を与えられ、参加者全員が協力しながら運搬し、無事に任務を完遂した。

短い期間の生活体験だったが、参加者の表情は一樣に晴やかだった。また、参加者の所見には新社会人としての覚悟や自衛隊に対する信頼と感謝がこぼれられていた。

令和4年度職場体験

連隊は、令和4年11月9日豊川駐屯地において、三河地区の中学生42名を対象に職場体験を支援して、陸自に対する理解の醸成を図った。生徒たちは緊張した面持ちで救急法、目標発見をするともにも体験試乗を実施した。

救急法では2人バディを作り止血法・応急処置、目標発見では森の中に隠れている10個目標を眼鏡で探索、体験試乗は軽装甲機動車で実施した。特に生徒たちの興味を引いたのは目標発見で、森の中に隠れている目標を探すため集中して眼鏡を覗き込み10個目標すべて見つける生徒もいて、他の生徒や隊員を驚かせた。

職場体験を終えた生徒たちからは、「楽しく貴重な体験ができました」「自衛隊を進路の一つとして考えていきたいです」などの感想もあり貴重な職場体験となった。



連隊検閲フォトギャラリー



訓練開始式



状況ガス



背のう入れ組品



検査(人員)



検査(車両)



30km徒歩行進



30km徒歩行進



警戒部隊の駆逐



警戒部隊の駆逐



攻撃前進中の隊員



応急処置中の隊員



検閲参加者による集合写真